

リコー三愛グループ
**三愛会
会誌**
No.175 2025

リコーグループ

三愛オブリグループ

リコーエレメックスグループ

リコーリースグループ

CHIMURA
125th
Anniversary
市村 清 生誕125年



特集 『市村清生誕125年』

三愛会では、市村清生誕125年記念として「市村清ゆかりの地を巡る 佐賀ツアー」を開催しました。

今号は、特集「市村清生誕125年」第2弾として、佐賀ツアーの様子を紹介します。

創業者・市村清物語 市村清の訓え



三愛オブリは自律・分散型インフラ社会の 推進をサポートします

WOTA WOSH 水循環型手洗いスタンド



水と向き合ってきた私たちの
独自技術により
人にも、地球にも
やさしい手洗いが、
どこでもできるようになりました。

日常での利用事例



商業モール・デパート
施設の感染症対策に
ホスピタリティを



学校・キッズエリア
子供が安心して
学べる・遊べる
衛生的な環境づくり



病院・福祉介護施設
病原菌から施設を
徹底的に守る

WOTA WOTA BOX ポータブル水再生システム



水道のない場所での水利用を実現する
ポータブル水再生システム。
排水を再生して
循環利用を可能にすることで、
災害時にも安心安全の水を使えます。

いつでも、どこでも、水道がない場所でシャワーを

空間の清潔さやプライバシーを重視するとともに、緊急時の持ち運びや保管が簡単な、テント方式を採用。避難所をはじめとする災害現場で、WOTA BOXを接続するだけで、誰でもすぐにお使いいただくことが可能です。



蓄電・発電

Powerwallは、家庭用蓄電池です。太陽光などで発電した電気を蓄電することで、電力会社への依存を減らし、エネルギー自律型の生活を目指することができます。また、停電時でも1台でご家庭の全体をバックアップできる製品能力を備えていますので、より安心な暮らしを実現します。



Lifestyle
Powerwallを導入した
住宅におけるライフスタイル

〈ご紹介ショート動画〉



Powerwall
ライフスタイル

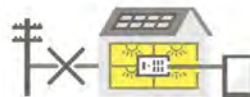


Powerwallが生み出す
安全性と利便性

テスラ家庭用蓄電池
Tesla Powerwall

テスラ Powerwall

<全負荷型>



家全体をバックアップ

他社製

<特定負荷型>



選択したエリアのみ

高性能アプリで簡単管理
遠隔操作・モニタリング、ソフトウェア自動更新



人々の生活と産業を支えるパートナーを目指して

さまざまなエネルギーサービスのシーンで、人々の生活と産業を支えています

Obbli
三愛オブリ

CONTENTS

特集・市村清生誕 125 年

02 創業者・市村清物語

市村清の訓え

04 佐賀ツアー開催レポート

市村清ゆかりの地を巡る

12 市村清クイズ（174号） 解答と解説

13 Group Information

リコーグループ／リコー／リコーITソリューションズ
リコークリエイティブサービス
三愛理研／リコーエレメックス／リコーリース

17 三愛会プラザ

創業者市村清顕彰活動①エフエム佐賀・「市村清 人柄に迫る 13 のエピソード」放送終了、②『市村清生誕 125 年』特設サイト
創業者墓参／支部の活動報告／三愛会社友会
「愛の手募金」からのご報告とお知らせ 他

21 三愛会会員会社一覧

三愛会／リコーグループ／三愛オブリグループ
リコーエレメックスグループ／リコーリースグループ
その他の会社・団体

表紙の言葉

今回は佐賀ツアーの写真を見て楽しむ市村さんです。ツアーが組めるくらいゆかりの地がたくさんあるってすごいですね。皆さま、きっと良い思い出になったことでしょう。
(作者 佐田みそ)



三愛精神



市村清の訓え

私は市村社長から二十年来、数多くの教訓を受けた。

第2代三愛会会長 館林三喜男

『市村清実践哲学』より



●市村清の人生観●

明日の自分との競争

今、非常に厳しい競争の中にいる。それは人と人との競争、企業と企業との競争、さらに言えば、時間との競争、つまり、今日の自分と明日の自分との競争でもある。このことをはつきり認識して一層闘志を燃やし、そして、誠意を忘れずに仕事に進まねばならない。

『そのものを狙うな』



真の人間の価値は愛の深さ

すべての動物に自己保存があるように、人間も本能的に自己を愛する。だが、人間は自己を高めていくにつれて、家族や周囲の人々、祖国、世界の全人類を愛するようになる。真の人間の偉さを決定するものは、その人の持つ「愛」の深さと広さではないだろうか。

『三愛精神』



熱海の別荘「清恵荘」にて (1961)

転んだら、起きればいい

30代は、人生の基礎工事期間である。30代の処し方で人生の勝負の浮沈が決まると言えるかもしれない。安易な妥協はしないで、自分の信じるところに向けて邁進しよう。転んだら、起きればいいではないか。

『市村清実践哲学』

困難な道を選ぶか、安易な道を選ぶか

36歳の時に熱海に別荘をつくった理由の一つは、ばく大な維持費のためにさらに働かなくてはならないという困難な状況に自分を置いたためであった。困難な道か、安易な道か、いずれの道を選択するかで、一生が決まる。

『儲ける経営法 儲かる経営法』

『市村清実践哲学』

縁を大事にすること

“袖振り合うも他生の縁”とは、なかなか滋味のある言葉だ。縁も“真心”によって結ばれるものは何よりも強い。利害だけで結ばれたものは必ず破綻がくる。事業の根底は、真心でなくてはならない。

『市村清実践哲学』

最初からうまくいくことはない

事業に成功するにはどうしたらいいか。どんな仕事も最初からうまくいくというのはいりえない。努力に努力を重ね、一つずつ欠点を除いていって、初めて物になる。事業とはそういうものだ。

大和銀行札幌支店主催講演会

『中小企業経営の諸問題』(1962)

『市村清講演集』

常に真実を見よ

物事は見方によつては全く逆になることがある。それが誤解を招くことにもなる。社員相互において、常に注意して戒心して、真実を見抜く目を養ってほしい。真実が分かれば、誤解がなく、そこに相互の信頼と心からの団結が生まれる。『三愛』3号／『市村清実践哲学』

信念を貫くことが最善の道

自分が正しいと思うことに臆病風は禁物である。商売だけではなく、信念を貫くことが人生において自分の運命を切り開いていく最善の道となるのである。

『光は闇をつらぬいて』

指導すれど監督せず

「火事場の馬鹿力」ではないが、人間は環境によつて、実に大きな能力を発揮する。逆に、気分が落ち込むような環境ではその能力はゼロになる。従業員たちの自己拡張欲を十二分に発揮させるため、「指導すれど監督せず」、すなわち、できるだけ自由に、しかも放任しないという経営方針を掲げた。

『そのものを狙うな』

損得を忘れてしたことが、好結果に

納期を守るために赤字覚悟で貨車からトラック輸送に変更する、引退する取引先の所長の引越越しを全従業員を連れて手伝いに行く、……損得勘定なしの行動だったが信用を高めることにつながった。求めてはかえって得られず、損得を忘れての強い責任感による行為が意外な好結果をもたらす。

『人の逆をいく法』

闘魂が燃えている限り、行く道をさえぎるものはない

どんな逆境にあつても、希望を失わず人生を生き抜こうとする闘魂が燃えている限り、その人の行く道をさえぎるものはない。私は闘魂ひとすじに、闇の壁を破ってきた。

『闘魂ひとすじに』



自社製品に自信を持つ

セールスマンたるもの、自社製品には絶対の自信を持ちなさい。商品を信じれば売ることが非常に楽しくなる。“売る楽しみ”を持っているセールスマンは本物である。

『そのものを狙うな』

何が一番幸せか、それは後悔のない人生である

自分を押し殺して小さく生きるより、思い切つて自分の生き方を貫こう。たとえ、それで失敗しても悔いることはない。悔いのない人生こそ大切だと思う。

『闘魂ひとすじに』／『市村清実践哲学』



リコー三愛グループ合同運動会にて (1968)

●市村清の発想法●

アイデアはすべて体験に根差している

根拠なしの雲をつかむような工夫だけでは事業として結実しない。アイデアとは、地に足着いた発想とは、すべて体験と実験、不断の努力から生じるものである。

『明日への着眼』

アイデアを出そうと思ったら

アイデアは簡単には生まれない。何かのヒントが非常に重大だ。そのヒントを見逃さないためには、何から何まで絶えず関心を持ち続けることが最大の効果をあげる。

『市村清実践哲学』

計画は5年先にピントを合わせる

普通の商品なら1歩先んずる、さらに恒久的なものでは3歩ないし5歩先を見ておくのが、市村経営の流儀である。札幌のホテル三愛は、国民の生活水準の向上も見て、5年先にピントを合わせて計画した。

『明日への着眼』／『市村清実践哲学』

アイデアは疑問から生まれる

アイデアの生まれる根本は、第1に現状を否定すること、第2に疑問を持つこと、第3にその疑問を追究することである。世の中にアイデアの種はいくらでもある。

『明日への着眼』／『市村清実践哲学』



三愛ドリームセンター完成披露宴 (1963)



グチや夢にもヒントが潜む

新しい商品のヒントは大きな夢と、足元の小さなグチや不満などに、その種が潜んでいる。グチは快適の夢と裏腹のものであるからだ。電気釜は、ご飯がうまく炊けないという若夫婦のグチにヒントを得て開発された。

『そのものを狙うな』

創意工夫とは

上海での監房生活の間に、同房者に頼まれて将棋の道具を作る。駒の材料はトイレトペーパーの芯、盤は4つ合わせた木枕、文字や線を書く墨は水で溶いた煙突の灰……創意工夫とは、考え、想像できる人間の頭脳の素晴らしさにある。何事においても、懸命に創意工夫すれば、道は開ける。

『茨と虹と』

市村清の処世法

一対一の約束は必ず実行する

会社同士の紙の上での約束を仮に破ることがあっても、人間一対一の約束は必ず実行するよう努めてきた。

『市村清実践哲学』

人を支える厚意

私が不遇になった時、多くの人が厚意を示してくれた。その厚意に報いるためにも、絶対再起せねばならぬと勇気付けられた。本当の善意は人を動かすのだ。そして、最も命がけで力になってくれるのは、やはり女房である。

『市村清実践哲学』



幸恵夫人と北海道旅行へ (1943)

お金よりも信用が大切

無理して儲けても、もしその反面、信用を失ってしまったら大きなマイナスだと思う。お金は大切だが、信用の方がもっと大切である。信用を得るには一生懸命やればいい。お金は無理せずに、自然に儲かるものでなければならぬ。

『明日への着眼』

お客さまもセールスマン

感光紙1本の注文でもすぐに届けるようにしていた。すると、「感光紙はあそこの店で買え」と、お客さま自らが宣伝してくれるようになった。どんな小さなお客さまにも誠心誠意尽くすこと。そのお客さまはきっと君たちのセールスマンになってくれる。

『そのものを狙うな』

他人の立場を理解する

大ヒットをおさめた婦人のおしゃれ専門店「三愛」の発想は、デパートの女子トイレでの会話から女性たちの趣味嗜好を探るという奇抜なマーケティングから生まれた。成功に秘訣があるとすれば、他人の立場を理解し、他人の立場から物事を見る能力を持つことである。

『茨と虹と』

酒後に人を見よ

日本人はよく間違いを起こしておいて、酒の上のことだから勘弁してくれと言うが、これくらい卑怯なことはない。酒を飲んだときこそ、その人の本性が現れる。最初に酒後の姿を見ておけば、無責任な人間と手を携えることはあるまい。

『そのものを狙うな』／『市村清実践哲学』



好き嫌いで区別するな

人間は感情の動物であるから、好き嫌いに任せて人を用いられれば、同じような型の者ばかりが集まって、事業そのものに偏りが生じる。人を選ぶには、人の資質や能力を見る目、すなわち理性の目が必要であり、従業員を好き嫌いで区別してはいけない。

『そのものを狙うな』

お世辞に注意

お世辞がうまかったり、ただ気に入られようと立ち回っている人に、本物はいない。会社を良くしようという立場にあるものは、お世辞などに惑わされず、もつと奥深いものを絶えず見ている。目先のことばかり気にする器の小さい人間には、本物を見分けることができない。

『San'a』30号／『市村清実践哲学』

できないではなく、できるという前提に立つ

かつて人間は飛べないと思っていた。しかし、ライト兄弟は、人間ならば飛ぶ方法を発見できるはずだ、という前提に立ち、飛行機の発明に至った。最初からあきらめては何もできない、必ずできるという前提に立つて考えようではないか。

大和銀行札幌支店主催講演会

『中小企業経営の諸問題』(1962)

『市村清講演集』

百万円の客より百円の客

人は大きな問題には真剣になり、小さな問題は軽く扱いがちだが、これがそもその間違いなのだ。小さなことを重く見て処理しておけば、大きな問題は起こらないし、仮に起こっても軽くすむ。小さなことに対する態度が、成功するかしないかの分岐点なのである。

『儲ける経営法 儲かる経営法』

『市村清実践哲学』

特集・市村清生誕125年

〈佐賀ツアー開催レポート〉

市村清ゆかりの地を 巡る

リコー三愛グループ創業者・市村清は佐賀県三養基郡（現みやき町）で生まれ、18歳まで佐賀で過ごしました。19歳の時、大志を抱き上京、その後銀行に就職して中国に渡り、取締役まで昇進しましたが、恐慌のあおりで銀行閉鎖。生きる場を求めて佐賀に戻り、理研感光紙九州総代理店の権利を得て、リコーへの道を歩み始めました。

故郷佐賀は市村の根幹を育んだ地でもありました。

今年は市村の誕生から125年の節目の年。これを機に、リコー三愛グループの皆さんに創業者の人生や功績をもっと深く知ってほしいとの思いから、三愛会では、「市村清ゆかりの地を巡る佐賀ツアー」（6月4日～5日の2日間）を開催しました。

三愛会の全国8支部から総勢67人が参加。A班（東京、中部、中国、九州）とB班（北海道、東北、神奈川・東静岡、近畿）に分かれ、1日目と2日目でコースを交互にして、A班は佐賀市内コース、B班はみやき町コースからスタートしました。1日目の夜は支部交流を目的とした懇親会を開催。三愛会役員や来賓をお招きし、グループの結束を深め親睦を図りました。

今号の特集は、佐賀ツアーをレポート形式でお届けします。



佐賀県庁展望台から見る佐賀市の街並み
右手前が市村記念体育館

佐賀県佐賀市編

リコー三愛グループ創立につながる佐星醤油、サガテレビ、私財を投じて寄贈した市村記念体育館など、市村のレガシーが数多く残る佐賀市内コース

訪問先（順不同）

▼サガテレビ（JONAI SQUARE）

▼市村清モニュメント ▼清恵庵 ▼佐星醤油

▼市村記念体育館（旧佐賀県体育館）

サガテレビ

サガテレビ1階のカフェ「JONAI SQUARE」での昼食タイム（A班は1日目の最初、B班は2日目の最後）。店内のスクリーンに映された動画『三愛精神のルーツを辿る』を観賞しながら、市村との縁も深い老舗料亭「楊柳亭」のお弁当をいただくという楽しいひとときでした。



昼食タイム。動画『三愛精神のルーツを辿る』を観賞しながら老舗料亭「楊柳亭」のお弁当をいただく



楊柳亭のすき焼き弁当



サガテレビ
佐賀県唯一の民間テレビ放送局。1967年、佐賀放送設立（初代会長・市村清）。同年5月、サガテレビに社名変更。69年4月、本放送開始。



JONAI SQUARE サガテレビ1F
歴史と文化が息づく佐賀城内エリアに集う人々の“つながり”が生まれる場として誕生。「佐賀市景観賞」受賞。



JONAI NORTH
食のセレクトショップとして、全国の食品約800点を取り扱う。



市村清モニュメント
50歳頃の市村をモデルに制作。手に大ヒットした二眼レフカメラ「リコーフレックスⅢ型」を持っている。



A班を引率したリコージャパン佐賀支社の神武さん。ユーモアあふれる説明が好評でした



市村のモニュメント（右）と記念撮影。サロンパスで有名な久光製薬の創業者・中富三郎氏のモニュメントも一緒にパチリ

「肥前さが幕末維新博覧会」（2018年）で、「佐賀ゆかりの偉人」25人の一人として選ばれた市村の等身大モニュメントが佐賀駅前から伸びる中央通りに展示されています。

A班はバス車内で引率の神武完守さんの説明を聞いた後、市村のモニュメントと記念撮影。等身大の市村と並んでツーショットを撮ったり、実際に触れて市村をより身近に感じたり、手に持つ二眼レフカメラ「リコーフレックスⅢ型」の精巧さに驚いている人もいました。

佐賀ツアーを終えて

ご参加の皆さんのご感想を紹介します

*（ ）内は所属グループ（G）

- サガテレビでランチ中に拝見したビデオがとても良かったです。また、いろいろなところに市村清のモニュメントがあり、いかに佐賀で慕われ、功績を残されてきたかが分かり、創業者やリコーの成り立ちについても身をもって体感することができました。（リコーG）
- 佐星醤油では、リコーの歴史のスタートを知ることができ、大切に語り継がれていることにとても感銘を受けました。時間配分も余裕を持っていたいたおかげで見学もしっかりできましたし、事前のしおりやバス車内の説明であらかじめ見学施設のことを知った上で見学できたことでさらに充実した時間を過ごしました。（リコーリースG）
- 創業者の学生時代や理研感光紙との出会い、市村の人脈が広く名を馳せた方とも親交があり、地元のために貢献するだけでなく、ベストなタイミングで最高級・最先端の贈り物ができるところにも感銘を受けつつ、三愛精神のルーツも知れる良い機会だった。（リコーG）
- 佐星醤油さんでのエピソードと市村清の出版の原点を感じることができた。三愛精神が葉隠武士道にも通じていることを学んで勉強になった。（三愛オブリG）
- 市村清さんの生誕地でのツアーは、佐星醤油でのリコー三愛グループを築ききつかけになった場所という説明ですごく理解が深まり、寄贈した体育館も素晴らしい場所（バレーの聖地）でもとても印象に残りました。（リコーG）
- ツアー前に市村記念体育館についての動画を視聴しており、近代建築の巨匠・坂倉準三氏の設計ということで楽しみにしておりました。折板構造の外壁と楕円型の吊り屋根といった特徴的な外観だけでなく、内部の至るところに坂倉氏、市村氏のこだわりを感じました。文化的アイコンとして近隣地域に根付いている理由がよく分かりました。（リコーG）

清恵庵

市村幸恵夫人寄贈の茶室「清恵庵」は現在、佐賀県立博物館が管理しています。案内してくださった学芸課の渡部芳久さんによれば、この茶室は茶室建築の第一人者・堀口捨己氏の遺作として、また一般に開放され使用できる氏の唯一の作品としても貴重なものだそうです。窓を開けると目の前に緑豊かなハス池が広がっており、その景観も作品の一部と聞いて、茶室の素晴らしさをより深く体感できました。



茶室 清恵庵
1973年、市村の遺志により幸恵夫人が佐賀県に寄贈。設計は日本近代の茶室建築の第一人者・堀口捨己氏。四季折々の景観との調和も計算された貴重な建築遺産。



計算された茶室の作りに感心する皆さん



佐賀県立博物館
学芸課の渡部さん



佐星醤油

昭和初期、4代目吉村吉郎氏は醤油醸造元を営むかたわら「吉村商会」として富国徴兵保険代理店や理研感光紙九州総代理店を兼業していました（当時、吉郎氏の実妹・黒田チカ氏へ日本初の女性理学士）が理化学研究所の研究員だった関係で、吉村商会が理研感光紙の九州総代理店をしていた。その縁で、市村は保険の外交員時代に吉郎氏と知り合い、後に理研感光紙代理店の権利を譲り受けることになりました。



佐星醤油
1897（明治30）年創業の老舗醤油醸造元。4代目・吉村吉郎氏は「吉村商会」として富国徴兵保険の代理店や理研感光紙の九州総代理店を兼業しており、その縁で保険の外交員だった市村と出会う。

展示パネルを使って歴史などを説明してくださった吉村英夫取締役は、「リコー三愛グループの歴史が市村さんが理研感光紙の権利を譲り受けたことから始まったとすれば、市村さんと吉村吉郎の出会いはもちろんのこと、黒田チカ氏の存在も極めて大きかった」と力説されました。ちなみに、吉郎氏が理事長を務めていた「佐賀市瓦斯購買利用組合」（1931年設立）は、現在の「佐賀ガス」の前身だそう、より一層縁の深さに驚きました。



パネルを使って説明される佐星醤油の吉村取締役



理研感光紙の保存缶（左、昭和3～4年頃のもの）、右は焼酎瓶

●市村記念体育館は、市村さんの当時の想いが一番伝わってくるように感じました。
（リコーリースG）

●体育館の斬新なデザインや、当時莫大な費用がかかったであろう施設を寄贈したということととても誇らしく感じました。
（リコーリースG）

●市村清先生がただ寄贈しただけでなく未来も見据えて建築物を造り、佐賀の皆さんへ貢献していたことが本ツアーで学ぶことができました。三愛会として市村記念体育館リニューアルを支援することも必要では？と感じました。
（リコーG）

●市村記念体育館は、歴史と外観の美しさ、古くても味があつてよかったです。
（リコーG）

●市村記念体育館のユニークな設計と今でも通じる利用者への配慮等、チャレンジ精神とお客様（利用者）に寄り添った対応が感じられました。
（リコーG）

●訪問した先々で、市村清に関する歴史や苦勞話を聞けたことが印象に残っています。市村が寄贈した体育館には圧倒されました。
（リコーG）

●市村記念体育館は、普段は入れないところも見学できたのが印象に残りました。
（三愛オブリG）

●サガテレビさんは、スタジオ等を見せてもらえると聞いていたので、ちょっと残念でした。しかし清恵庵から見た風景や八幡宮の宮司さんのお話はとても良かったです。初参加でしたが、貴重な体験や市村さんのことをたくさん知ることができて勉強になりました。
（SBSリコーロジスティクスG）

●清恵庵は素晴らしい建物で、誰もが利用できるように維持されていることに感銘を受けました。また、体育館は説明いただいた方の市村清に対する尊敬と愛情を感じ、胸を打たれました。当時の最先端技術を用いて建てられていることが随所から伝わり、市村清の偉大さを感じることができました。生家跡地は山下会長がおっしゃられた通り、背筋がピンッと伸びる気持ちがい었습니다。リコーの聖地だと思います。
（リコーリースG）

市村記念体育館（旧佐賀県体育館）

今回、市村記念体育館の見学を一番楽しみにしていたという参加者も多く、到着するとまずは王冠に似た特徴的な外観をスマホでパチリ。

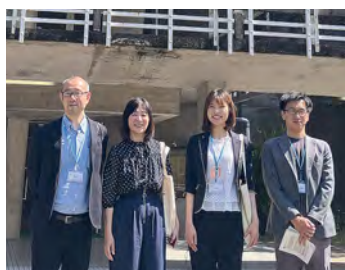
佐賀県文化・観光局居石美和子副局長から歓迎の挨拶を受け、A班は同局の杉町美奈さん、B班は同田中裕之さんに館内を案内していただきました。落成当時の様子が分かる資料やパネル、建物の模型、さらに今後の改修後の予想模型なども展示されており、皆さん、説明を聞きながら熱心に見ていました。



市村記念体育館（旧佐賀県体育館）
1963年、市村が私財を投じて佐賀県に寄贈（92年、市村記念体育館と改称）。設計はモダニズム建築の第一人者・坂倉準三氏。スポーツ大会、演奏会など多くのイベントが開催されたが老朽化等により使用休止、現在、体育館から文化施設への移行を準備中。



体育館についての説明に聞き入る皆さん



佐賀県文化・観光局の皆さん
（左から稲田さん、居石さん、杉町さん、田中さん）

2階の“楽屋”には設計者・坂倉準三氏デザインの椅子が残されており、市村が体育館を訪れた時の写真なども展示されています。また、3階の客席から眺めると館の全体像や曲線がよく分かり、歴史的建造物であることが納得できました。

現在、老朽化により体育館としての役割を終え、近い将来、独創的な外観はそのままに、新たな役割を担う施設として生まれ変わる予定です。



体育館の正面で記念撮影（B班）



体育館横にある市村清の銅像の前で（A班）

● 清恵庵の美しさに心から感動いたしました。市村氏がこれまで多くの施設等を寄贈されたことは存じておりましたが、茶室まで寄贈されていたことには大変驚かされました。

市村記念体育館については、事前に佐賀出身の社員から特に佐賀県内で有名であると聞いていましたが、実際に訪れてみると特徴的な外観をはじめ、随所にこだわりが感じられ、この体育館が長年にわたり県民に愛されてきたことを実感し、市村氏の偉大な功績に心を打たれました。

また、千栗八幡宮の宮司さんのお話がとても興味深く、千栗八幡宮や市村氏に対する理解や共感が深まりました。（その他の会社・団体）

● 体育館は、坂倉準三氏の建築ということで個人的にとっても楽しみでしたが、実際に見て触れて、大変価値のあるものだと感じました。今まで佐賀醤油についてあまり知らなかったのですが、理研感光紙九州総代理店の権利を譲り受ける以前からのつながりを知ることができて新鮮でした。千栗八幡宮はそもそも成り立ちが非常に古いことはもちろんですが、市村さんの寄進により改造した時の設えが世界トップレベルのものということで（体育館の緞帳などもそうですが）、一流のものを惜しみなく、という市村さんの信念に感激しました。

佐賀で回った地がどれも市村さんの成し遂げた功績から連綿と続いて、今の人や企業のつながり、地域の営みがあるようで、歴史に名を残すという偉人の生きざまというのを初めて体感しました。（リコー）

● 体育館や小学校講堂など、私財を投じ郷土発展に貢献、またそれに感謝し続け先人を敬う土地柄に感銘を受けました。個人的に、また市村さんに会いにきたいと思います。（リコーエレクトロニクス）

● 市村記念体育館の画期的な建築物が現在でもほぼ当時のまま残されているのがすごいと思います。また、千栗八幡宮の改修工事で市村さんが寄進されたことを初めて知りましたし、北茂安小学校は自身の母校なので久しぶりに訪問しましたが、市村さんの銅像を改めて拝見して、感慨深い気持ちになりました。（SBSリコーロジスティクス）

佐賀県みやき町編

市村が幼少期を過ごした生家跡（現・市村記念公園）や北茂安小学校、勉学のため通った千栗八幡宮など、多くの思い出が残るみやき町コース

市村清記念メディカルコミュニティセンター



挨拶される
みやき町 岡町長

ツアーの最初に同センターを訪れたB班では、みやき町の岡毅町長がお忙しい中駆けつけてくださり、「これからみやき町発展のため頑張ります」と挨拶されました。

1階のセレクトショップでは、みやき町をはじめとする佐賀県内の名産品を販売しており、早速、お土産に購入した人もいました。



市村を紹介するパネルなどを設置しているリコグループ展示空間



市村清記念メディカルコミュニティセンター
2021年、みやき町と民間事業者が持つ知見や経験を結集してオープンした、健康長寿の拠点となる総合医療を核とした施設。
施設名にみやき町の名誉町民でもある市村清の名を冠する。

訪問先（順不同）

- 市村清記念メディカルコミュニティセンター
- 千栗土居公園
- 市村記念公園（生家跡）
- みやき町立北茂安小学校
- 千栗八幡宮

● 体育館や佐賀醤油、千栗八幡宮などは特に感じるものがありました。やはり現場、現物に優るものはありませんね。
（リコG）

● 市村記念体育館のデザイン性、機能性が素晴らしい、今でも佐賀の人たちが誇る施設だというのが話を通じて強く感じることができました。また北茂安小学校は、今も市村清さんの痕跡がところどころに残っており、地元の方にも強く影響を与えていることが伝わりました。千栗八幡宮の石段がきつかったですが、厳かな気持ちになれ、宮司のユーモアもあって楽しく過ごせました。

● 事前に『茨と虹』を読んで、今回のツアーに臨んだのでそれぞれの見学地が聖地巡礼のような気分でした。次は自分が他の人に伝える番なので、市村清さんの功績、佐賀の魅力を発信していきたいです。
（リコG）

● 著書で市村さんに触れる機会はありませんでしたが、実際に現地で話を聞いたりゆかりの地を巡ることで、事業の拡大だけではなく、社会を豊かにするための活動も拝見することができました。現在も行政や学校、神社など多くの場所です市村さんの功績や人柄が語り継がれていることに驚きと感動を覚えました。
（リコG）

● 特に北茂安小学校や千栗八幡宮などは、市村清氏が地域に深く理解されていると感じられ、とても楽しいツアーを体験できました。
（三愛オブリG）

● 北茂安小学校に市村アイデア賞などのパネルがあり、今でも市村清の精神が息づいているところが印象に残りました。また、このツアーで多くの方々と面識を持つことができ、とても有意義でした。
（リコG）

● 当日は暑くなりましたが、千栗八幡宮の宮司さんの話を聞いていた最中、神社内に涼しい風が入ってきて清々しい気持ちになりました。また時間ギリギリまで宮司さんが一生懸命説明してくださったのがとても印象に残っています。
（三愛オブリG）

● 体育館や小学校など、現地の方から生の声で市村についての話を聞いたのがとてもよかったです。個人的に、千栗八幡宮の宮司さんのお話に引き込まれました（もったいぶり聞きたかったです）。
（リコG）

千栗土居公園



メディカルセンタールに隣接する千栗土居公園には大きなハス池があり、夏になると池一面に美しい花が咲くそうです。残念ながら私たちは少し時期が早かったようですが、アジサイが見頃を迎えていました。遊歩道に設置されている市村の紹介パネルを見ながら、歩いて生家跡の公園へ移動。



千栗土居公園
みやき町と久留米市の間を流れる筑後川の氾濫による被害を防ぐため 1600 年初頭に築かれた堤防を、2000 年、佐賀県文化財の認定を受けて町が一部を公園として整備。6 月下旬～8 月、池一面にハスの花が開花する。

市村記念公園（生家跡）



市村の胸像を囲んで



市村記念公園（生家跡）
市村清の生誕地。2001年、市村生誕100年を記念して、生家跡地を公園に整備し町に寄贈、市村の銅像も建立した。

市村が誕生から上京するまでの約19年を過ごした家があったこの場所は、現在、公園として整備され、市村の像もあります。胸像の前で感慨深げな皆さん、幼い頃の市村に思いを馳せていたのかもしれない。

みやき町立北茂安小学校

きたしげやす



吉岡校長の説明を熱心に聞く皆さん

市村の母校では吉岡功太郎校長の出迎えを受け、校長室で市村が寄贈した講堂や落成式、祝賀会の写真など貴重な資料を拝見、壁には歴代校長と並んで市村の写真もありました。また、廊下の「名誉町民」のコーナーに、市村清と柔道家・古賀稔彦氏が飾られていました。体育館では市村の実弟・茂人氏寄贈の豪華な緞帳が今も使われています。



吉岡校長（左）とツアー参加の井手さん。思いがけない再会、なんと二人は同級生だった



北茂安小学校 講堂
1958年、市村が祖父新太郎の50周忌に母校に寄贈（写真）。老朽化により1991年に建て替え。

千栗八幡宮

ちりく



玉串を捧げる三愛会 山下会長



東宮司のお話を聞く



肥前国一宮千栗八幡宮
724（神亀元）年創建の神社。市村が匿名で行った多額の寄進や地元有志の寄進により社殿が改造され、佐賀県唯一の国幣小社に昇格。

神社の表参道としてそびえる146段の石段を前に一瞬ひるみましたが、意を決して上りました。みな、息絶え絶えにやっと上までたどり着き、まずは拝殿前で拝礼を。

本殿では、荘厳な太鼓の音とともにご祈禱が始まり、A班ではサガテレビの吉村俊造会長、B班では三愛会の山下良則会長が代表して玉串奉奠を行いました。

その後、東宮司から千栗八幡宮の歴史や、神社と市村の関係などを伺いました。

「市村先生の寄進で本殿を改造した時の設えがとても立派なものだったので、昨年の改装時、交換せずに残しておくことにしました。本来なら皆さんにもお見せしたいところですが、宮司の私しか入れない神域ですので、頭の中で想像してみてください」と、笑顔で話されました。

●施設見学の時も確保されていて、現地での説明も丁寧でとてもよく理解できた。千栗八幡宮の宮司のお話が、お人柄も含め印象的でした。（リコーG）

●今回は残念ながら1日目しか参加できませんでしたが、千栗八幡宮の宮司さんのお話は勉強になりましたし、新任の部長クラスや役員が必ず参加できるといった枠組みになるといいなと思いました。（リコーG）

●私は普段、福岡で仕事をしており、北茂安小学校、千栗八幡宮、清恵庵以外は訪れたことがありません。今回のツアーでは特に千栗八幡宮の本殿まで行く石段がけっこう大変でしたが、宮司の貴重なお話など頑張った甲斐がありました。（リコーG）

●創業者について今まで何となく知っていたことが具体的なかつ肌で感じる事ができました。生家跡や市村清記念メデイカルコミュニケーションセンターでは、生い立ちや寄贈について、また地域貢献など、市村の影響力の大きさを感じることができました。（リコーG）

●市村清記念メデイカルコミュニケーションセンターはとても気持ちの良い空間で、近くにあったら何度も足を運びたいと思いました。また、施設にいらっしゃる方がすれ違うたびに挨拶をしていて、ハード面だけでなくソフト面でも気持ちの良い所でした。佐賀の人たちはとても親切で街もきれいだし、緑も多く坂もありないので住みやすそうだなと感じました。（リコーG）

●改めて、リコー三愛グループや市村さんを身近に感じることができました。（リコーリスG）

●市村清という偉大な創業者のルーツや功績が、ゆかりの場所や物、人、佐賀県全体を通して肌で確認でき、大変心に残る見学ツアーでした。もっと多くの方に知っていただきたい内容でした！（リコーG）

●市村清の偉大さが実感できる貴重な経験をさせていただきました。また全国の三愛会各支部の皆さまとお会いし、三愛会の一員であることの素晴らしいことに感動しました。（三愛オブリG）

懇親会

ツアー初日のタベ、ツアーに参加の皆さん、三愛会役員、来賓の方々が集い、ホテルニューオータニ佐賀の「鶴の間」にて懇親会を開催しました。

ツアー1日目を終えた夕刻、ツアー参加の67人の皆さん、三愛会会長の山下リコー会長、三愛会常任理事や来賓の皆さまにお集まりいただき、懇親会が開かれました。

会は山下会長の挨拶から始まる予定でしたが、「先に乾杯しましょう！」という会長のひとことで、乾杯のご発声是三愛会九州支部長サガテレビ 吉村会長が登壇し、千栗八幡宮の東宮司からいただいた御神酒で杯を掲げてスタートしました（佐賀県には「日本酒で乾杯条例」があるそうです）。



サガテレビ 吉村会長による乾杯



挨拶する三愛会 山下会長

「2018年にリコーは原点復帰として市村清創業のゆかりの地・東京の馬込に本社を移しました。今、市村清関連で二つのプロジェクトが動いています。私が会長として変えずに続けることは『お客さまに寄り添うこと』と『三愛精神の実践』です。

今日、佐賀の市村ゆかりの地を巡って背筋がスツと伸びる感覚がありました。今進めているプロジェクトが完成した時に、皆さんにも市村清を感じ、背筋がスツと伸びる感覚を感じてもらえるよう努めていきますので楽しみにしていってください」

山下会長の挨拶に会場から拍手が起こり、さらに盛り上がりつつありました。

三愛会常任理事



リコーエレメックス
富永康一郎社長



サガテレビ 指山弘雄社長



エフエム佐賀 小川正則社長



リコーリース 中村徳晴社長



佐星醤油 吉村英夫取締役



リコージャパン 佐賀支社
西崎圭司支社長

来賓の方々

しばらくの歓談の後、来賓の皆さまや各支部の代表の方からご挨拶がありました。

ほろ酔いかげんで和気あいあいの雰囲気の中、支部代表の話にツッコミを入れたり、冗談を交えた挨拶に大笑いしたりと、楽しい時間が続きます。

● 体育館や佐星醤油など、佐賀県の歴史に刻まれた市村清さんの足跡とリコー三愛グループへ伝承された歴史を強く感じました。
(リコーG)

● 当時の建物等を直接見ることができたのはとても貴重な体験でした。その時代や市村清の思いに触れることができたと感じます。
(リコーG)

● 三愛精神につながる市村清の人間性の一部に触れたような気がしてとても感慨深かったです。
(リコーG)

● 清恵庵や佐星醤油、千栗八幡宮などは個人的な興味もあり、またリコーの生い立ちについても理解でき、大変満足できました。
(リコーG)

● たくさんのゆかりの地を巡り、市村さんとの関わりを深く感じる事ができました。また、佐賀県の方々の市村さんへのリスペクトを非常に強く感じました。
(SBSリコーロジスティクスG)

● 創業者市村清のゆかりについて、さらに地元の方々の感謝の話を聞くことで、その精神に背筋が伸び、今まで理解していた以上に理解が深まった。
(リコーG)

● 創業者・市村清先生がいかに故郷を愛し、地域の方々に尊敬されているかをあらためて肌で感じる事ができた貴重な体験でした。2026年はリコー創業90年の節目となるかと思えます。この先100年、200年と市村先生の意思が繋がっていくように私自身もしっかりと活動をしていきたいと感じています。
(SBSリコーロジスティクスG)

● いたるところに市村先生のコメントがあり、改めてその偉大さを痛感しました。今回のツアーを通して市村先生の生い立ちや企業理念を感じることが出来、「従業員は使用人ではない、事業の協力者だと思っている」という言葉に感銘を受けた。
(三愛オブリG)

● これまで市村さんの生い立ちについて話は聞いていましたが、直接現場で聞けたこと、見たこと、感じたことで心に刺さりました。
(リコーG)



吉村副支部長による中締め



“博多手一本”をレクチャーする
九州支部 吉村副支部長

中締めは九州支部副支部長のリコージャパン・吉村隆男執行役員。福岡独特の手締め“博多手一本”をみんなに合わせてお開きとなりました。

市村清生誕125年企画の一環として開催した「市村清ゆかりの地を巡る 佐賀ツアー」は、関係各所の皆さまのご協力のおかげで無事終了することができました。

市村の足跡や功績を肌で感じられる良い機会になったようで、参加された多くの皆さんから「このようなツアーを今後も開催してほしい」とおっしゃっていただき、事務局一同、うれしさとともに安堵の胸をなでおろしました。

三愛会では、市村の人生や功績をより多くの皆さんに知っていただくための「創業者顕彰活動」を、これからも様々な機会を通して続けていきたいと思っておりますので、ぜひご参加、ご協力をお願いいたします。

最後に、A班の引率を引き受けてくださったリコージャパン佐賀支社の神武さん、懇親会の受付や全体を通してご協力いただいたサガテレビの時里優さん、南里高志さん、中村奈々恵さん、ビープラストの阿部絵美さんに心より感謝申し上げます。

(※文中の所属・肩書きはツアー催行時のものです)



最後は全員揃って記念撮影

●市村清氏の偉業を目の当たりにし、畏敬の念に打たれました。創業者の思いに立ち返り経営の原点「三愛精神」と自身の存在意義について深く考える大変良い機会となりました。
(三愛オブリグ)

●市村ゆかりの地を見学してみ、想像していた以上に地域貢献と町民に愛されていることに感動し、市村さんの偉大さを誇りに思いました。
(リコーG)

●直接現地の方の説明やお話を聞き、市村さんの地元に対する貢献やより良くしたいという熱意が伝わってきました。
(リコーG)

●事前に市村清さんの年譜や各所の説明を頭に入れたうえで参加したことで、ご説明いただいた話から当時の状況を頭に思い浮かべることができたので、市村さんの偉大さを再認識することができました。ただ見て回るだけでなく、現場でのエピソードトークなどを聞くことでより充実したツアーになったと思います。
(リコーリスG)

●市村清が寄贈したものを実際に見て、その思いを感じることができた。また、市民から大変感謝されていることにも感動しました。
(リコーG)

●今後ツアーを企画する際は、少人数でチームを作りチームごとに行動するとか、懇親会は支部ごとと同じテーブルにするなど、支部内の交流もできるようにしていただけるとより良いツアーになるのではないかと思います。
(リコーG)

●このツアーを通じ、市村氏がいかに偉大な方であったか、地域の方々に親しまれ尊敬される存在であったか、実際にご説明や見学をさせていただき強く感じる事ができました。また、皆さんから「市村先生」と呼ばれていることから市村氏から得た学びが後世にも伝わっていると、とても印象的でした。
(リコーG)

●今回見学に訪れた場所では、本当に市村さんがいろいろなところで息づいているのを感じました。また、リコージャパンの方の説明がとても分かりやすく楽しかったです。
(リコーG)

難問 市村清クイズ 解答 & 解説

『三愛会会誌』174号（特集：市村清生誕125年）掲載の『難問 市村清クイズ』、皆さんはどれくらい分かりましたか。クイズの解答を発表しますので、ぜひ答え合わせをしてみてください。

- q1 市村清が生まれ育った佐賀の家はどれ？

①



②



③



答えは② 誕生から1919年に上京するまで家族と過ごした三養基郡北茂安の家。①は一般の民家、③は市村が36歳の時に熱海に建てた別荘「清恵荘」。

- q2 結核に侵されていた市村を病院へ連れて行き、命を救った姉の名前は？

① チト ② タイ ③ 静代

答えは② タイは清の次姉。伯母チヨフの嫁ぎ先（原口家）の養子だった英雄と結婚し、上京。お茶の水で清と偶然出会い、清の不調に気づく。

- q3 理化学興業(株)感光紙部長に就任後、古参の部長と衝突し、“無策の策”と連日通った店の名前は？

① サロン春 ② サロン夏 ③ サロン冬

答えは① 朝遅くに出社、昼はサロンという市村の毎日が理化学研究所・大河内所長の知るところとなり、感光紙部を市村に一任するという形で事態を収めた。

- q4 亡き社員たちを偲んで1944年に開催された「第1回 物故社員合同慰霊法要」の会場は？

① 明治神宮 ② 増上寺 ③ 築地本願寺

答えは③ 11月21日、市村を施主として行われ、遺族や来賓、各社重役や従業員代表など約850人が参列した。法要後、家族慰安大会も開催された。

- q5 戦後間もなく食料品を中心にスタートした雑貨店“三愛”が、大赤字を出した商品は？

① 塩さけ ② 干物 ③ お米

答えは① 乾燥塩さけは水で戻し、増量してから売るといった初歩的な知識がなく、乾燥のまま販売したため、当時の金額で約120万円の大赤字となった。

- q6 1951年、日本の民間航空機の航行が許可され、日本航空一番機に市村も搭乗。その行き先は？

① 大阪 ② 福岡 ③ 札幌

答えは① 冒険好きの市村は、1番機“もく星号”に初乗客の一人として乗り込み、大阪までの空の旅を楽しんだという。

- q7 市村が初めて書いたラブレターの仲介役を頼んだのは誰？

① 岡 泰雄 ② 多々良貞雄 ③ 村山長一

答えは② 小学生の頃、初ラブレターを相手に手渡すことができず、級友で悪童仲間だった多々良に依頼。なかなかの名文だったそうだが初恋は成就せず。

- q8 市村が愛用していた時計は？

① ダイナミック・オート33
② ハミルトン・リコー エレクトリック
③ リコー・ダイナミックワイド

答えは② 1962年にハミルトン・リコー時計株式会社を創立した際、事業の発展を願って自らも使用した。（現物は市村清新技術財団に展示されている）

- q9 市村と妻・幸恵の共通の趣味で、しばしば社員たちにも披露されたのは何？

① 日本舞踊 ② 三味線 ③ 能（謡曲）

答えは③ 能は市村夫妻共通の趣味であり、1958年の理研光学工業本社大森ホールの落成式などのイベントで、清の謡いと幸恵夫人の舞が披露された。

- q10 佐賀の市村記念体育館に設置されている市村清の銅像はどれ？

①



②



③



答えは① 今回の佐賀ツアーでも訪れ、参加者揃って像の前で記念写真を撮影（本誌p5参照）。②は出身地・みやき町の市村記念公園（生家跡）の胸像。③はリコー本社 正門前にある座像。

いくつ正解できましたか。超マニアの市村ファンの方でもかなり難しかったかもしれません。

今回のクイズを通して、リコー三愛グループ創業者・市村清についてもっと深く知っていただけたとしたら幸いです。

リコーグループ

2025 年度入社式を開催、グループ全体で 507 人が仲間入り

4 月 1 日、リコーグループ各社で入社式が開催され、グループ全体で 507 人の新しい仲間を迎えました。

リコーでは、山下良則会長、大山晃社長が新入社員の皆さん一人ひとりと言葉を交わして社章を授与。経営層との座談会（テーマトーク）や、ラグビーボールを使い同期との「TEAMWORK」を高めるゲームなど、趣向を凝らした入社式が本社事業所（東京都大田区）で行われました。

グループ最多となる 254 人の新入社員が全国から一堂に集まったのはリコージャパン。今年のテーマは「ワクワク」ということで、第 1 部の式典から例年以上にカジュアルな雰囲気で行進し、第 2 部では同期同士の交流ワークで盛り上がりました。リコー IT ソリューションズでは、先輩社員からのウエルカムメッセージや若手社員からデザイン案を募集したフォトプロップス（写真撮影の際に使用する小道具）が入社式を盛り上げました。



リコーの入社式の模様（新入社員の皆さん、役員の方々とラムまる）

リコー IT ソリューションズ

8 拠点目となる長崎事業所を開設

リコー IT ソリューションズ（以下、RITS）は、4 月 1 日に 8 拠点目となる長崎事業所を開設。4 月 3 日に関係者を招いた開所式が執り行われ、その様子は、長崎県の新聞やニュースでも取り上げられました。

開設準備から約 2 年、本格的に始動した長崎事業所の 6 月時点での在籍社員は 13 人ですが、今後は新卒やキャリア採用を積極的に進め、2029 年までに 55 人体制にしていこうと予定しています。

開所式で野水泰之社長は、「リコーらしいデジタルサービスの創造を、九州から日本全国、さらには世界へと羽ばたかせることを目指し、IT 人材を多く輩出している長崎に事業所を開設しました。今後は、さまざまな文化が融合するこの長崎県内の大学や企業と連携・協業し、RITS 長崎事業所を、AI 技術を主軸とした新たなデジタルサービスの開発・提供を担う拠点として発展させていきたいと考えています」と挨拶しました。



長崎事業所開所式の様子
テープカットを行う RITS 野水泰之社長（中央）

リコーグループ

サプライヤーダイバシティの取り組みが日刊工業新聞で紹介されました

4 月 18 日発行の日刊工業新聞で、リコーグループの「サプライヤーダイバシティ（SD）」の取り組みが紹介されました。

リコーグループは、企業所有者の多様性を基準に調達する「サプライヤーダイバシティ」を 2025 年から開始。通常の調達活動を通じて、社会的弱者となりがちなマイノリティー（少数派）の支援や過疎地の経済に貢献するとともに、従来とは異なる基準で選んだ企業との取引により、リコーグループとしても新たな価値を社内に取り込む狙いがあります。「サプライヤーダイバシティ」発祥の米国では女性や障がい者、人種・少数民族、LGBTQ（性的少数者）などが所有する企業が該当します。今回の取り組みによって新規取引が生まれている一方で、その認知度が課題になっています。日本国内では外資系の日本支社が進めるくらいで、日本企業の事例は少ないと思われます。中小企業や地域経済の支援にもつながるため、リコーグループの活動による認知度向上と他社への広がりが期待されています。



ライスレジンのコメ由来プラスチックで作ったラグビー部のうちわ

リコー

将棋部が内閣総理大臣杯 3 連覇！

5月5日に「内閣総理大臣杯 第127回 職域団体対抗将棋大会」がアリーナ立川立飛（東京都立川市）で開催され、リコー将棋部から出場した「リコー（1）」チームが最上位クラスのS級で優勝。内閣総理大臣杯を手にし、見事3連覇を果たしました。

毎年春と秋に行われる「職域団体対抗将棋大会」は、同一職場から5人でチームを組んで出場する団体戦で、SからFまで7つのクラスに分かれて戦い、将棋の企業日本一を決定する大会です。今大会には316チームが参加し、12チームからなる最上位クラスのS級にはリコーから2チームが参加しました。「リコー（1）」は、予選リーグ1回戦で優勝候補の「トリプルアイズ」に勝利するなど、予選を全勝で突破。準決勝は、「日本製鉄」に4-1で勝利し、決勝は優勝候補の「富士通（1）」との対戦。今大会1軍抜擢の馬上勇人さんが相手主力に勝利したのが大きく、3-2で勝利し、3連覇を達成しました。

次の大会は11月3日に開催され、4連覇を目指します。



優勝した「リコー（1）」チームの皆さん

リコー

テニス部の板谷里音選手と谷井涼香選手が女子ダブルスで優勝！

日本テニス協会（JTA）公認大会の「第99回関東オープンテニス選手権大会」の本戦が、5月20日～23日に有明テニスの森公園（東京都江東区）で開催され、女子ダブルスにおいて、リコー女子テニス部の板谷里音選手と谷井涼香選手が優勝しました。

試合後に板谷選手は、「目標としていた優勝を達成でき、とても自信につながりました。これからもたくさん試合が続いていきますので、良い結果を残せるように精進してまいります」と、また、谷井選手は「昨年度のダブルスに続いて今大会でも優勝を果たすことができ、非常にうれしく思うと同時に大きな自信につながりました。今後、大会のシーズンに入っていきますが、一つでも多くタイトルを獲得できるよう、より一層頑張っていきたいと思います」と語りました。



ダブルスで優勝した 板谷里音選手（左）と 谷井涼香選手

リコー

市村自然塾 関東でボランティアの皆さんが大活躍しています！

リコー三愛グループ創業者・市村清の生誕100年を記念して設立された「市村自然塾 関東」（神奈川県足柄上郡）では、令和7年度の塾生（第24期生）34人が元気に活動中です。

5月中旬に行われた「茶摘み」では、リコー三愛グループの社員をはじめとするボランティアの方々が、初夏のやわらかな陽射しのもと、みずみずしい若葉色に染まるお茶畑で茶摘みを体験しました。慣れない手つきで、茶の芽とその下の若葉2枚を摘む「一芯二葉^{いっしんによう}」の手法で丁寧に摘み取りながら、自然とのふれあいや季節の移ろいを肌で感じ、「初めての体験で新鮮だった」「自然の中で体を動かして気持ちよかった」といった声も聞かれました。皆さんの笑顔が、お茶畑の緑にも負けないほど輝いていました。

市村自然塾 関東では、ボランティア活動への参加者だけでなく、賛助会員も募集しています。詳しくは、市村自然塾 関東のWebサイトをご覧ください。 <https://www.szj.jp/>



ボランティア活動に参加された方々で記念撮影、過去最高の参加人数でした！



リコー ESG 戦略部の新入社員も参加してくれました

リコー

NTT ジャパンラグビー リーグワン 2024-25 応援ありがとうございました！

今シーズンもリコーブラックラムズ東京に多大なるご支援・応援をいただきありがとうございました。

タンバイ・マツソンヘッドコーチやニュージーランド代表 89 試合出場の世界的スター選手 TJ・ペレナラ選手を新たに迎えた今季は、第 2 節で東京サントリーサンゴリアスに 20 年ぶりに勝利、第 11 節でも横浜キヤノンイーグルスとの“事務機ダービー”にも勝利するなど奮闘を重ね、12 チーム中 7 位でシーズンを終えました。年間表彰式ではベストフIFティーン (SH) に TJ・ペレナラ選手 (SH) が選出されました。

また、日本代表セレクションにあたる「JAPAN XV 大分合宿」には、ブラックラムズ東京から 12 人が参加し、6 月 16 日から始まった日本代表活動には、ファカタヴァ アマト選手、中楠一期選手、メイン平選手が参加しています。日本代表でも活躍が期待される選手たちへ、今後も応援よろしくお願いします。



来シーズンも応援よろしくお願いします！

リコークリエイティブサービス

リコーグループの皆さまに保険相談 Forms のお知らせ

リコーグループの福利厚生制度保険を取り扱っているライフサポートセンターでは、リコーグループの皆さまに保険相談の窓口の一つとして、保険相談 Forms をオープンしました。お持ちのスマートフォンで下記の二次元バーコードを読み取ってください。ご入力内容は以下となります。

- 所属していた会社（本籍）
- お名前（カタカナ）
- メールアドレス
- お住まい（都道府県）
- RCS 保険相談方法の選択（リアル相談・オンライン相談・メール相談・電話相談）
- 相談や確認したい事項について（任意）
- その他（任意）

※通常は営業日 3 日以内にメールにてお返事いたします。

※ご希望の相談方法や日時など、最初はメールでのやり取りをさせていただきます。



〈お問い合わせ先〉 ライフサポート事業部 営業推進室 zjp_sales_promotion@jp.ricoh.com

リコークリエイティブサービス

ご存じですか？ リコー三愛グループの皆さまが利用できる「住まいの法人提携制度」

住まいを買う・建てる・売る・リフォームする時

全国の法人提携企業 約 150 社から割引・優遇が受けられる制度です。

例えば・・・ ●新築マンション（価格 5000 万円）を購入 ⇒ 1%の割引物件 → 50 万円の割引特典

●注文住宅（工事価格 3000 万円）で建築 ⇒ 3%割引の会社 → 90 万円の割引特典

ご注意：提携会社に“初めて”問い合わせをする前に当社発行の「紹介カード」がないと適用されません。

① 住まいを考え始めたら → Web サイト「RNAVI」で検索！ 提携会社を確認 →

② 気になる会社・物件を見つけたら → 「紹介カード」発券申請

〈お問い合わせ先〉

ファシリティマネジメント事業本部 CRE 部 担当：田中 電話：080-2004-5712



三愛理研

2027 年 9 月 新工場操業開始予定

三愛オブリグループの三愛理研は、茨城県潮来市に化学製品の
新工場を建設します。

同社は、自動車用ケミカル商品、防腐・防かび剤、各種洗浄剤、
農薬などを製造し、化学品関連事業の一翼を担っております。

このたびの新工場の建設とともに、既存工場の設備を一新する
ことにより製造ラインの高度化を進め、生産能力を現状の 1.3 倍
に増強いたします。

三愛オブリグループは、「中期経営計画（2024-2026 年度）～
変貌する未来への挑戦 Challenge2030～」の方針に基づき、化学
品関連事業をはじめとした成長事業への投資を推進してまいりま
す。



新工場イメージ

新工場概要

所在地	茨城県潮来市潮来工業団地内 (三愛理研株式会社および既存工場隣接地)
敷地面積	5,471㎡
投資額	約 30 億円
建設計画	2025 年 10 月 着工 2027 年 9 月 操業開始予定
製造製品	自動車用ケミカル商品および各種洗浄剤

リコーエレメックス

京三電機様主催の「仕入先様 感謝の集い」で最優秀仕入先賞を受賞

6 月 13 日、リコーエレメックスは重要なお取引先である京三電機株式会社が主催
する「25 年度仕入先様 感謝の集い」で最優秀仕入先賞を受賞しました。京三電機様
には難易度が高く他社では加工できないディーゼルエンジン関連部品を日本、タイの 2 拠
点で加工して納入しており、技術的課題や数量変動への対応、原価低減、品質などの Q
C D が総合的に評価されました。これまで国内では品質賞、タイ拠点では京三電機様の
タイ法人から最優秀仕入先賞、原価改善賞を受賞しており、今回は国内主要仕入先約
220 社から 1 社が選ばれる「最優秀仕入先」の栄誉を手に入れました。

「25 年度仕入先様 感謝の集い」には産業ソリューション事業部 部品事業センターの
古瀬所長、同事業統括室の春日井室長が参加。京三電機様の石井社長から古瀬所長に表
彰状と記念品が手渡されました。

リコーエレメックスは技術で世の中に貢献し、技術で会社を成長させる「シン技術立
社」の実現に向け、今後も継続した技術革新でお客さまのもの作りに貢献していきます。



表彰状を手にする古瀬所長（右）と
京三電機様石井社長

リコーリース

クリニックの省人化を実現する医療 DX システムの運用を開始

当社は、長年、医療機関が導入する機材へのファイ
ナンス提供等、医療・ヘルスケア業界への支援
を行っております。近年、医師の働き方改革をは
じめ、働きがいある職場構築や人材確保が課題と
なっていることに加え、物価高騰により、さまざ
まなコストが増加傾向にあり、生産性向上が急務
となっています。当社は、こうした課題の解決に
貢献すべく、クリニックの省人化を実現する医療
DX システムの商品化および提供に向けた運用を
2025 年 6 月より開始しました。

当システムは、「省人化を可能にする遠隔接客」と「セキュリティを担保する防犯・入退室管理」を軸に構築し、予約
システム、電子カルテ、自動精算機をシームレスに連携させることで、受付の省人化を実現しております。

今後も医療・ヘルスケア業界の課題解決に努め、医療関連施設の健全かつ円滑な運営のサポートを通じ、当社マテリ
アリティの一つに掲げる「豊かな暮らしをつくる」を推進してまいります。



三愛会・創業者市村清顕彰活動 その1

エフエム佐賀・特別企画

リコー三愛グループ三愛会 presents

「市村清 人柄に迫る 13 のエピソード」 放送終了

エフエム佐賀では、2025 年 1 月から 3 月まで「市村清 人柄に迫る 13 のエピソード」を放送しました。

市村清のドラマシリーズ第 5 弾となった今回は市村生誕 125 年を記念し、これまで紹介してきたエピソードの中から特に人柄にスポットを当て、『父の教訓 - そのものを狙うな -』、『涙もろかった市村清』、『人の心も物の形も丸がいい』、『次代を担う子どもたちのために』など、選りすぐりの 13 話をご紹介します。

放送後、リスナーの皆さんからエフエム佐賀に番組の感想が数多く寄せられましたので、その一部を抜粋して掲載いたします。

なお、三愛会ホームページでは、番組の音声だけでなくテキストデータも合わせて公開していますので、ぜひご覧ください。

「市村清 人柄に迫る 13 のエピソード」

https://www.san-ai-kai.jp/ichimura/gallery.html#footprints_01



リスナーの皆さんから寄せられた番組のご感想（抜粋）

- 戦前から戦後の激動の時代に一代でリコー三愛グループを築き上げた偉人市村清さんのエピソードなど、人間・市村清の人柄に焦点をあてて紹介してくださる番組にふるさとの懐かしい思い出が重なり、とても感慨深く聴かせていただきました。
- 市村清の三愛精神が形成された背景、エピソードが毎回人生の為になります。ウナギを獲る時は浮き上がってくる泡を見る、スズメを獲る時はスズメ自体を狙わずに少し前のところを狙うなど、目的を達成する方法が実は人間の欲望と離れたところにあると学び、人生のあらゆるところで応用できると思いました。
- またまた始まりましたね！いつ始まるかと楽しみにしていました。そうそうスズメの話、目からうろこでした。
- 市村清さんの幼少期やリコーブラックラムズ東京の話が 5 分間にうまくまとめられていて面白かったです。ナレーションやエンディングに流れる懐かしい昭和の曲も良いアクセントになっていて聴きやすかったです。市村清さんの人柄について興味をそえられる内容だったので、次回も聴いてみたいと思います。
- 短いラジオドラマなので聞きやすく、それぞれのエピソードが印象に残りやすいです。番組を聴く前まで、市村清さんを存じ

上げませんでしたが、回を重ねるごとにその魅力がどんどん増し、今、気になって仕方ない人物ナンバーワンです！

- 涙もろい市村清さん、すごく感動して、聴いている私が泣きそうでした。小さなお子さんの学費の面倒をみるなんてなかなか言えません、すごいなぁと思いました。
- 今の時代「内助の功」などという言葉は適切ではないのかも知れませんが、市村夫人も人格者だったことがよく分かりました。
- 市村さん、スケールも考え方も桁違い。今の日本をご覧になったら、どう思われるでしょう…。まさに混沌とした今こそ必要な方だと思います。
- 市村清さんの人柄が垣間見えるエピソードに心温まる瞬間が多く、毎回感動しています。今回は特に、彼の人生観や挑戦のエピソードが深く響きました。番組を通じて、知らなかった市村清さんの一面を知ることができてとても勉強になっています。
- 離れた神奈川県で radiko で聴いてます。違う地域のラジオ番組を聴くのって不思議で楽しい気分ですね。まるで今、自分もその地域に居て聴いているような身近な気持ちで楽しめます。仲間が増えたような嬉しい気持ちにもなります！

三愛会・創業者市村清顕彰活動 その2

『市村清生誕 125 年』特設サイト

市村清の生誕 125 年の節目である今年、三愛会ではホームページに特設サイトを開設しました。「市村の生涯」や「市村の功績」などを紹介していますのでぜひご覧ください。



<https://san-ai-kai.jp/ichimura/125th>

創業者墓参

三愛会では、リコー三愛グループ創業者・市村清の墓参（東京都港区元麻布・賢崇寺）を年 4 回実施しています。3 月 19 日に春墓参を、7 月 11 日にお盆の墓参りを行いました。



支部の活動報告

神奈川・東静岡支部 新年懇親会を開催

1月15日、28人の幹部が出席して神奈川・東静岡支部の新年懇親会が行われました。第1部はリコー厚木事業所の見学、その後、第2部として支部の活動報告を兼ねた懇親会を開催しました。



中部支部 総会・懇親会を開催

1月24日、中部支部総会にて会員人事や活動結果、2025年度行事計画などを報告、続いて懇親会を開催しました。お互いの近況や情報交換が行われ、リコー三愛グループ各社が協力し合い、事業を展開していくことを確認しました。



東北支部 2025年 新年会開催

1月24日、東北支部17拠点の幹部社員全員が出席して、支部新年会を仙台市内で開催。年頭にあたり、リコー三愛グループ全体および東北支部の更なる発展と互いの活躍を誓い合いました。



近畿支部 2025年度総会・懇親会を開催

2月7日、近畿支部では2025年度総会とリコー池田事業所の見学会を開催。事務局を含む13人の幹部が参加し、施設見学とリコーの技術についてのレクチャーを受けました。その後、場所を移して懇親会を行い、交流を深めました。



中国支部 2025年度定例総会・懇親会開催

中国支部では、4月15日、8人の幹部が参加して、定例総会と懇親会を開催。総会では2024年度の行事实施を報告、2025年度の行事計画等を検討し決定しました。また、懇親会では互いの近況等を語り合い、親睦を深めました。



東京支部 2025年度支部総会を開催

4月23日、東京支部の2025年度総会をリコージャパン本社にて実施、会員会社の代表者16人が出席しました。2024年度の事業報告および2025年度の行事計画案などが話し合われました。



支部の活動報告

九州支部

リコージャパン長崎支社にて勉強会を実施

1月30日、リコージャパン長崎支社梶岡支社長の発案で勉強会「市村清とリコーの歴史」を開催しました。講師は長崎支社の山口明人氏が務め、営業所長やサービス所長、部門長など13人が受講、活発な意見交換も行われました。



九州支部

2025 年度新年懇親会を開催

5月20日、九州支部の新年度会を福岡市内で開催。17人の幹部が参加して、お互いの近況や今後の見通しなどの情報交換が行われました。



「三愛会社友会」(リコー三愛グループOB会) 入会のご案内

「三愛会社友会」はリコー三愛グループ出身者のOB会です。現在、約550人の会員がサークル活動やイベントをいきいきと楽しんでいます。ぜひあなたも社友会に入会して、シニアライフを楽しく過ごしてみませんか？

- 入会資格：三愛会会員会社の定年退職者
(20年以上勤続もしくは会員2名以上の推薦)
- 入会金：3,000円
- 年会費：3,000円(7月以降入会は、当年度会費1,500円)
- 入会方法：各社人事総務ご担当者 または
三愛会社友会事務局(070-4418-0126)へお問い合わせください。

社友会の11サークル

- 散策
- ハイキング
- ゴルフ
- テニス
- スキー
- 健康麻雀
- 囲碁・将棋
- 俳句
- 尺八
- カメラ
- スケッチ画



ハイキングサークル
丹沢・白山(2024.12)



スキーサークル
長野県斑尾高原スキー場(2025.2)



カメラサークル
東京の人気建造物を撮る(2025.4)

Topics

熱海・植物研究園(旧清恵荘)で梅見会

2月13日、社友会の皆さん15人が熱海の植物研究園(市村の別荘：旧清恵荘)を訪れ、梅見会を行いました。

市村は36歳の時にこの別荘を建て、庭づくりにもこだわりました。市村が育てた樹齢100年ほどの梅の木は、今もきれいに色とりどりの花を咲かせています。



かれんに咲いた梅の花

黒田園長(後列右端)と一緒に記念撮影



「愛の手募金」からのご報告とお知らせ

2024年11月～12月に実施された「愛の手募金強化期間」では、リコー三愛グループ各社の社員の皆さまのご協力により10,384,755円の募金が集まりました。

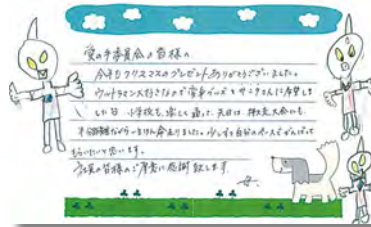
皆さまから寄せられたご厚志は、昨年12月に年末プレゼントとして920万円を遺児、重度の障がいを持つお子さんたち92人（10万円/人）に、今年3月に入進学祝金として172万円を小・中・高校へ入学（進学）されたお子さんたち19人にプレゼントいたしました。

愛の手委員会では、グループ社員の皆さまからいただいた浄財を、毎年12月に「年末プレゼント」、3月に「入進学祝金」として対象のお子さんに贈呈しています。

愛の手の対象となる条件など、詳細については愛の手委員会事務局へお問い合わせください。

【問い合わせ先】リコー三愛グループ愛の手委員会事務局

TEL：050-3534-3401（三愛会代表）



お礼のお手紙

三愛会会誌・Web アンケートの実施 より良い紙面づくりにご協力ください

三愛会会員会社の皆さまに、本誌の満足度と今後について、Web アンケート調査を実施します。

パソコンやスマートフォンで、下記QRコードまたはアドレスにアクセスして、アンケートにご回答ください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/SAN-AI175>

アンケート実施期間 8月1日（金）～9月30日（火）

*後日、三愛会がランダムに抽出した三愛会会員各社社員の方々にも本アンケートのお願いをメールで送らせていただく予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。



読者の声

『三愛会会誌174号』（特集：市村清生誕125年）のWebアンケートに多くの方からご意見・ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートの中から一部をご紹介します。

●特集：市村清生誕125年

*経済界、財界や皇室や芸能界など幅広い人脈があったことを改めて認識できた。（リコージャパン）

*クイズの問題をきっかけに様々なエピソードを目にし、市村さんの人柄を垣間見ることができた。（リコー）

*市村清の考え方の原点、アイデアエピソードが面白かった。（リコージャパン）

*節目として市村さんのことを深く知ることができて良かった。今後入社される方々にも広く知ってもらいために、節目節目にはこうした企画をお願いできたらよいと思います。（リコー）

*創業者のヒストリーは、波瀾万丈で、そこに、正義感、人間愛など垣間見れて、大変面白く拝読しました。（リコーB）

市村清生誕125年を記念して企画した「佐賀ツアー」には、たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。「創業者の人生観や経営哲学を肌で感じることができた。このような企画はぜひこれからも続けてほしい」というご感想が多くの方から寄せられ、企画・実施した事務局一同、大変うれしく思っています。今回は参加者が多かったため、A班とB班に分かれて市村のゆかりの地などを巡りました。A班の引率は佐賀に詳しいリコージャパン佐賀支社の神武さん。当初、「ガイドは初体験なので緊張する」と言っておられましたが、移動中のバス車内で、ゆかりの地や佐賀県内の見どころをジョークを交えて紹介されるなど、名ガイドぶりが大変好評でした。B班担当の私は、残念ながらその名調子を聞くことができませんでしたが、次回はぜひ参加者の一人として神武さんのガイドでゆかりの地を巡ってみたいと思っています。（E子）

編集後記

三愛会カレンダー〈2025年8月～2026年1月〉

※2025年7月1日現在

三愛会全体

- '25年 8月 三愛会理事会
- 9月 創業者・秋彼岸墓参
三愛会常任理事会
- 11月～愛の手募金強化期間
- 12月 創業者祥月命日・墓参
- '26年 1月 『三愛会会誌』176号発行

支部

- '25年 8月 東北支部 暑気払い
- 9月 北海道支部 ビアパーティー
東京支部 サマービアパーティー
(旧ヤング三愛会)
- 神奈川・東静岡支部
事業所見学会&懇親会
- 10月 東京支部
会員会社を学ぶ機会ツアー（予定）
- 11月 中国支部 事業所見学会&懇親会
- '26年 1月 各支部新年会（予定）

『三愛会会誌』 編集委員

ほし	や	のり	こ	
星	谷	紀	子	（リコー）
いわ	田	敏	幸	（リコーエレメックス）
あず	また	ゆ	み	（三愛オブリ）
東	田	裕	見	
くら	た	もと	子	（リコーリース）
倉	田	元	子	
たけ	だ	ち	ひろ	（リコークリエイティブサービス）
竹	田	千	尋	



リコー三愛グループ 三愛会会員会社一覧

本社のみ掲載 41社・団体 太字は三愛会・常任理事会社
(2025年7月15日現在)

会社（団体）名	所在地 ※ビル名は省略	電話番号	事業内容
三愛会	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3534-3401	会員会社・社員の福利厚生・親睦・文化活動等
リコーグループ			
(株)リコー	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-8111	デジタルサービス、デジタルプロダクツ、グラフィックコミュニケーションズ、インダストリアルソリューションズ、及びその他において、開発、生産、販売、サービスの提供
リコージャパン(株)	東京都港区芝3-8-2	050-3534-0800	さまざまな業種におけるお客様の経営課題の解決を支援する各種ソリューションの提供
迫リコー(株)	宮城県登米市迫町佐沼字北散田86	0220-22-4431	OA機器製造、精密金属部品の工法開発から製造
リコーインダストリー(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1210	事務機器、光学機器、印刷機器、機械装置等とこれらの消耗品の製造ならびに販売など
エトリア(株)	神奈川県横浜市西区高島1-2-5	050-3814-7000	事務機器・産業機器・光学機器及びその周辺機器・消耗品等の開発・生産・販売等
リコークリエイティブサービス(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-2685	事業所運営事業、厚生支援事業、ビジネス支援事業など
リコー PFUコンピューティング(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	050-3817-3333	精密機器、製造・検査装置、材料・部品、ソフトウェア・システム等の開発、設計、製造、販売、サービス
リコー ITソリューションズ(株)	神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1	050-3817-3900	ソリューションサービス事業、リコーグループ社内ITシステム事業
リコーテクノリサーチ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-5372	特許調査・外国出願（米欧中韓の翻訳）・特許管理
リコーデジタルペインティング(株)	東京都町田市小山町800-5	042-751-6110	プリンター、インク／塗料の開発・製造・販売
リコーエスポール(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1590	アフターサービス用部品の包装、梱包業務、部品の組み立て、リサイクル業務など
三愛オブリグループ			
三愛オブリ(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-6880-3100	石油製品およびL P ガス等の販売、航空燃料取扱業
キグナス石油(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-5204-1600	石油類、石油化学製品の売買
佐賀ガス(株)	佐賀県佐賀市兵庫町大字西淵1996	0952-30-6161	都市ガス供給事業、ガス器具等の小売販売
三愛リテールサービス(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6810-3900	石油製品等の販売
三愛オブリガス東日本(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1833	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリテック(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1850	CT事業、建設事業
三愛オブリガス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1731	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0160	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガスサービス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0164	LPガスの配送・充填
三愛オブリガス三神(株)	佐賀県神埼市神埼町本堀3003-6	0952-53-1221	LPガス・ガス器具等の小売販売、建設業
三愛オブリガスサービス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1750	LPガスの配送・充填
三愛オブリカスタマーサービス(株)	高知県高知市本町4-2-52	088-888-7200	石油関連製品等の受発注業
(株)トスプロ	佐賀県鳥栖市儀徳町2927-1	0942-83-3059	LPガス・ガス器具等の小売販売
リコーエレメックスグループ			
リコーエレメックス(株)	愛知県岡崎市井田町3-69	0564-23-5111	精密加工部品、産業機器、OA機器関連等の製造・販売
リコーエレメックスエーティー(株)	岐阜県恵那市長島町中野1218-2	0573-25-8524	精密加工部品等の製造・販売
リコーリースグループ			
リコーリース(株)	東京都港区東新橋1-5-2	03-6204-0700	リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業
テクノレント(株)	東京都港区東新橋1-5-2	03-6863-2700	各種計測器、IT機器のレンタル、計測・機器点検等の受託技術サービス、各種機器の販売など
その他の会社・団体			
(株)サガテレビ	佐賀県佐賀市城内1-6-10	0952-23-9111	放送法に基づく放送事業、メディア事業、その他の放送関連事業
(株)西銀座デパート	東京都中央区銀座4-1先	03-3566-4008	不動産賃貸業及び商業施設運営管理
(株)エフエム佐賀	佐賀県佐賀市本庄町大字袋286-5	0952-25-7790	放送法に基づく超短波放送事業、その他の放送関連事業
瀬の本高原リゾート(株)	熊本県阿蘇郡南小国町満願寺5621-7	0967-44-0513	観光ホテル、ドライブイン等の運営
日清紡マイクロデバイス(株)	東京都中央区日本橋横山町3番10号	03-5642-8222	電子デバイス製品・マイクロ波製品の設計および製造・販売
SBSリコーロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8202	国内物流、国際物流に関するトータルソリューション事業
SBS三愛ロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8203	地域における物流トータルソリューション事業
(株)オプトル	神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1	045-286-5112	ADAS向け車載カメラやHUD部品、プロジェクターレンズ、光学デバイスの企画・開発・製造・販売とそれらを使用したサービスの提供
佐屋醤油(株)	佐賀県佐賀市唐人1-1-16	0952-23-4624	醤油製造業、駐車場業、保険代理業
リコー三愛グループ健康保険組合	東京都品川区南品川6-11-6	03-3740-4881	加入会社社員・家族の医療給付と保険事業
公益財団法人 市村清新技術財団	東京都大田区北馬込1-26-10	03-3775-2021	新技術開発助成、市村賞贈呈、植物研究助成、少年少女創造性育成、地球環境研究助成、市村賞受賞記念フォーラム
リコーグループ福祉会	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-4278	リコーグループ各社への共済事業

RICOH
imagine. change.

“はたらく”に、
喜びを。



私たちのサービスが実現するのは、好きな時に、好きな場所で、自由にはたらける世界。
はたらく人、場所、ワークフローが自在につながり、人間らしい想像力が発揮される未来。
そして、“はたらく”の変革に実現する、持続可能な社会。
リコーは、あるべき未来を思い描き、今をかえていきます。

はたらく喜びを、生きる喜びへ、つないでいくために。

<https://jp.ricoh.com>

株式会社 リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6